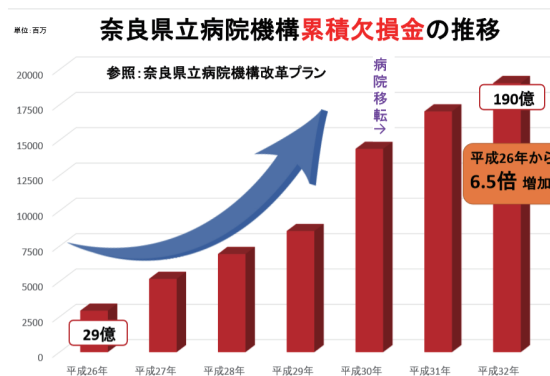


平成 29 年 12 月 奈良県議会 佐藤みつのり一般質問



地方独立行政法人奈良県立病院機構の経営状況について

質疑：平成26年4月に自立した経営を目指し、独立行政法人化された奈良県立病院機構は平成30年5月に主体である奈良県総合医療センターの移転も控えている中で、計3年度の累積欠損金が78億円を超えてきている。質疑内容としては現状の経営状況の確認、県が策定している改革プランの内容、更には県KPI(重要業績評価指数)において、人件費比率を加えて留意すべきであると知事に質疑を行いました。



☞ 質疑を行った翌月に、総務省は公立病院の半数以上が赤字経営であることなどを挙げて経営を効率化する必要性を指摘。経営指標の見える化や経営感覚・改革意欲に富む人材を登用するように促す報告書を公表して自治体に改革を促している。

奈良県下警察署の在り方について

質疑：県警としてサービスフロアの機能をどう考えているのか。また多くの警察施設が大規模改修時期を迎えてきている件や奈良県警察大規模災害対応業務継続計画で定められている非常用電源としての発動発電機(通称：発発)の設備状況、更には県下警察署の中で最も古い生駒警察署の今後の見通しについて県警察本部長に質問を行いました。



☞ 今回の質疑に際し、12警察署及び5分庁舎に対し独自の巡回調査を行いました。

小児がん対策に関する取組及び今後の課題について

質疑：小児がんは15歳以下の子どもの死亡原因1位となっている他、大人のがんとは全く異なり、早期発見も難しい上に特有の晩期合併症などの課題もある。小児がん拠点病院としては近畿圏に5拠点あるが、奈良県は拠点病院がなく、県外の拠点病院を利用せざるを得ません。その連携はどうなっているのか。ガイドライン的な計画がない状況でオペレーションが先行してしまっているのではないのか。今後の課題も含めて医療政策部長に質問を行いました。

☞ 質疑の後、平成29年12月20日に県がん患者会との懇談会において、患者会からも小児がん対策についての意見書が奈良県議会がん対策推進議員連盟に対して提出され、後のがん議連要望書として知事に提出される運びとなりました。

小児がん年齢別子どもの死亡原因

年齢	1位	2位	3位
0	先天奇形群	呼吸障害など	乳幼児突然死症候群
1～4	先天奇形群	不慮の事故	悪性新生物
5～9	悪性新生物	不慮の事故	先天奇形群
10～14	悪性新生物	自殺	不慮の事故
15～19	自殺	不慮の事故	悪性新生物

厚生労働省 平成27年(2015年)人口動態統計

小児がん克服に向けて



【厚生委員会での質疑事項】所属委員会内発言数

NO.1!

- 医療と介護における最大の課題は地域包括ケアシステムの構築だと考えております。特に在宅介護や在宅医療において発展させ、介護と医療の連携体制を確立しなければ地域包括ケア制度は成り立たないと考え、多岐に渡り議論を深めております。
- 直近では平成29年12月13日の厚生常任委員会において、下記の通り質疑を行いました。

※詳しくは県HPの県議会議会議中継にてご覧になれますのでご一瞥下さい。

- ・医療分野の関西広域連合への加入について
- ・住宅確保要配慮者向けの対策について
- ・奈良県配偶者からの第4次暴力防止及び被害者支援基本計画について
- ・県立病院機構の経営改善について
- ・小児がん対策について
- ・介護人材の確保について
- ・医療、介護連携におけるICTの活用について
- ・かかりつけ薬局について

【少子化対策・女性の活躍促進特別委員会】必ず質疑する副委員長!

● **少子化の課題：**全国的に30歳以下の離婚率が急速に上昇している上、奈良県において結婚適齢期の女性の独身率が全国一位となっている。また、奈良県39市町村の内、26市町村は消滅可能性都市とすら論じられる事もある状況で放ってはけません!議論あるべし!

● **女性の活躍：**奈良県は女性の就業率が全国で一番低い状況にありますが、国や県は固定的性別役割分担意識【夫が外で働き、妻が家を守ることを理想とする概念】が奈良県は全国1位であり、就業率に影響が出ているという。私は県として、企業への働きかけ不足と雇用のマッチングに問題があると思うのですが、皆様は如何お考えでしょうか。

※平成29年11月29日の委員会にて討論を行っておりますのでご一瞥下さい。



奈良県ホームページ及び佐藤みつのりホームページから、政務活動費収支報告・議会議中継(記録)を閲覧できます。



佐藤みつのりホームページ県政活動アルバムより

